

日時:8月29日(木) 16:00 - 18:00

場所:ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル「ラ ヴェラ」

共催: 日本政府 / 世界銀行グループ / Amref Health Africa / UHC2030 /  
国連児童基金 (UNICEF) / グローバルファンド / 武田薬品工業株式会社

## Sustainable UHC in Africa through Building Country Ownership

### 背景

「UHC in Africa」は2016年の第6回アフリカ開発会議 (TICAD VI) 時に策定され、ユニバーヘルス・カバレッジ (UHC) の達成に向けた包括的な行動枠組みおよび必要なアクションを示し、各国においてUHCの達成に向けた必要な政策の履行を促進した。アフリカにおけるUHCの進捗は加速している一方で、UHCの達成に向けては異なるステークホルダーの協調やコミットメントが求められている。こうした状況の下、TICAD 7では、UHC in Africa以降の各国のUHC達成に向けた進展を確認し、TICAD VI時に創出された、UHC達成に向けたモメンタムのさらなる醸成を図る。

### 目的

「UHC in Africa」における成果と課題に焦点を当て、持続可能なUHCに向けた取り組みに関して議論を深める。

### キークエスチョン

- ▶ 各国においてUHC達成に向けてどのような政策が実施されたのか？
- ▶ UHC達成に向けた取り組みにおける好事例と課題は何か？
- ▶ UHC達成に向けた取り組みを加速化させるために、いかにして国内および外部資金の動員、革新的な財政ツールを活用できるか？

### 登壇者

Hon. Ms. Sicily Kariuki ケニア保健大臣 (調整中)  
Hon. Mr. Mansour Faye セネガルコミュニティ開発大臣 (調整中)  
Hon. Mr. Kwaku Agyeman-Manu ガーナ保健大臣 (調整中)  
コンゴ民主共和国  
世界銀行グループ  
Amref Health Africa  
国連児童基金 (UNICEF) (調整中)  
世界保健機関 (WHO) (調整中)  
グローバルファンド  
武田薬品工業株式会社  
JICA